

# 大阪府感染症発生動向調査週報（速報）

2021年 第26週（6月28日～7月4日）

## 今週のコメント

～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、身体的距離の確保、密閉・密集・密接の回避が重要

### 定点把握感染症

「感染性胃腸炎 増加」

第26週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,469例であり、前週比4.7%減であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しんの順で上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ3.10、2.78、0.44、0.43、0.36である。

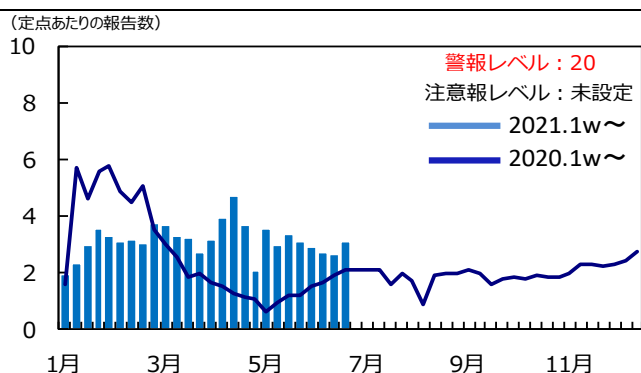
感染性胃腸炎は前週比17%増の608例で、中河内4.90、南河内4.69、大阪市南部4.44、泉州3.89、三島3.06であった。

RSウイルス感染症は17%減の544例で、大阪市西部5.10、南河内4.06、泉州3.58である。

咽頭結膜熱は1%減の86例で、大阪市北部0.86、中河内0.85、大阪市西部0.60であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は32%減の84例で、大阪市南部1.00、中河内0.70、南河内0.63である。

感染性胃腸炎



RSウイルス感染症

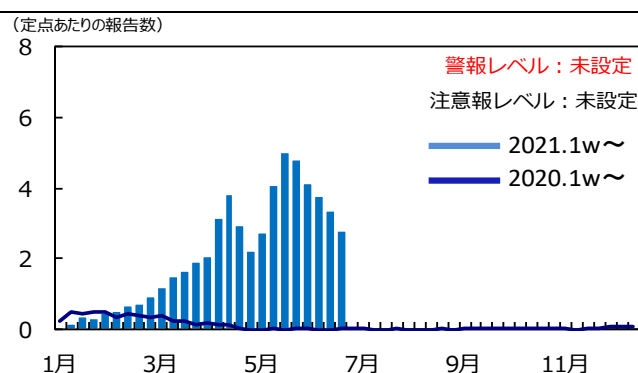


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2021年 第26週6月28日～7月4日）

第26週 の順位	第25週 の順位	感染症	2021年 第26週 の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2020年 第26週 の 定点あたり 報告数	2021年第26週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	2	感染性胃腸炎	3.10	17%増	2.08	1歳_19%
2	1	RSウイルス感染症	2.78	17%減	0.02	1歳_30%
3	4	咽頭結膜熱	0.44	1%減	0.08	1歳_47%
4	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.43	32%減	0.60	2歳_19%
5	5	突発性発しん	0.36	17%減	0.53	1歳_54%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2021年第10週まででインフルエンザのコメントを終了しました。

## 第26週のコメント

～日本紅斑熱～ 大阪府では、2020年に11例の報告がありました

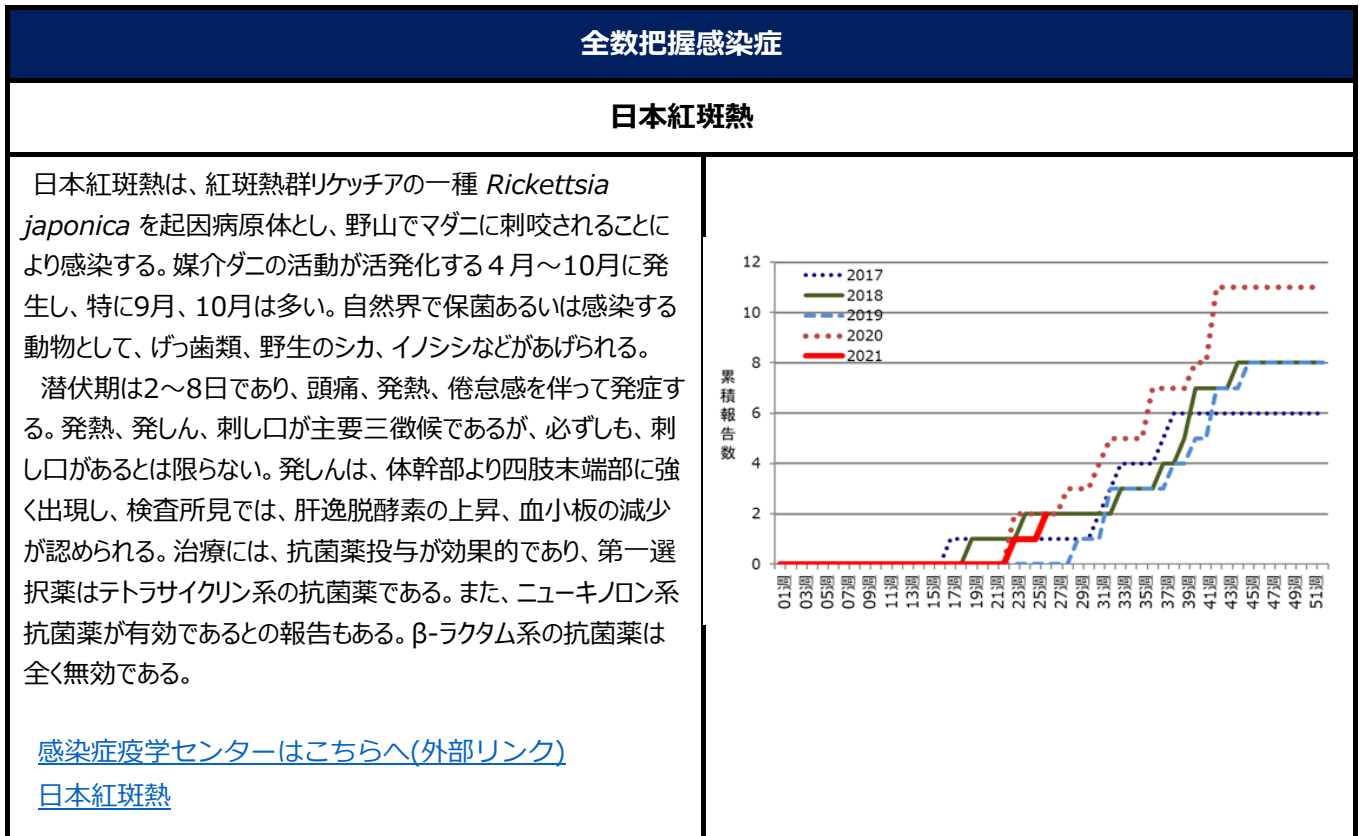


表2. 大阪府全数報告数（2021年 第26週6月28日～7月4日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります  
 （報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。）

	疾患名 ( )内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	府内累積報告数									
			豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6				1	1	1	1	2	42	
4類感染症	日本紅斑熱	1								1	2	
	レジオネラ症（肺炎型）	6			1		1	1		2	48	
	レジオネラ症（ポンティアック型）									1		
5類感染症	アメーバ赤痢	1								1	20	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3			1				1	1	80	
	後天性免疫不全症候群	1				1					43	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1								1	9	
	水痘（入院例）	1								1	8	
	梅毒	1								1	333	
	播種性クリプトコックス症	1								1	3	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	716	2020年1月以降累計 103,850									
結核 (2021年4月分)	結核 新登録患者数：43名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 17名) (府内累積報告数 276名、内 肺・喀痰塗抹陽性 94名)											

(2021年7月6日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。

[詳細はリンク先の『11月1日まで』と『11月2日以降』をご覧ください。](#)